

表2 自己評価用ルーブリック

| 育成すべき資質・能力 | | レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 |
|-------------------|------------|-------------------------------------|---|--|---|
| 知識 技能 | 専門的な知識と技能 | 与えられたプログラミング教室に向けての教材や資料の準備を行った | プログラミング教室に向けての教材や資料の準備を自主的に行い自分自身のものにした。 | 3年間学習してきた知識や技能を生かし、小中学生に分かりやすい配布プリントやパワーポイントを作成できた。 | 修得した技能や知識を活用し小中学生に説明し理解させることができた。 |
| 思考力 判断力 表現力 | コミュニケーション力 | グループでの話し合いに参加し班員の話を理解できた。 | グループでの活動において、班員の意見をよく聞きまた、自分の考えを的確に表現できた。 | プログラミング教室において自分の言葉で的確に説明できた。また、他社の価値観を認識し理解することができた。 | 説明の中で言葉の選び方や質問などに対しても十分に対応できた。 |
| 学びに向かう力 | 課題解決力 | プログラミング教室の準備の中で必要なことを見つけることができた。 | プログラミング教室の準備の中で必要なものを理解しグループ内で共有できた。 | プログラミング教室を通して課題を発見し解決に向けて取り組むことができた。 | 課題をまとめ改善点を共有し、次のステップに向けて取り組むことができた。 |
| | 協働力 | プログラミング教室を成功させるためにグループ内で自己の役割を果たせた。 | プログラミング教室成功に向けて全体の把握をしながら自己の役割を果たせた。 | グループの進捗状況をみて困っている班員や遅れている班員の作業を手助けできた。 | グループをまとめプログラミング教室全体を把握しコントロールでき、班員全体の達成感に導いた。 |